



DELLTechnologies

デジタルテクノロジーで挑む ヘルスケアの未来

デジタルカンパニーへ変革を遂げるコニカミノルタは、フィルムやカメラの開発で培われたコア技術をベースに新しい医療サービスを実現。AI・画像技術を駆使して、早期診断、個別化医療を強力に推進する。

デジタル技術は医療に革命的な進歩をもたらそうとしています。先進的な画像技術により今まで見えなかったものを「見える化」し、臓器レベルのみならず、分子、遺伝子レベルでのAIを駆使した解析が進み、それらのデータが蓄積されることで、病気を引き起こすメカニズムの解明が加速しています。それにより、病気の兆候を早期に察知し、患者様個人にあった治療を施すことが可能になるのです。「見える化」の分野において、コニカミノルタが開発したデジタルX線動画撮影システムは、肺の中の血流、換気の動きを同時に動画として撮影することができます。これにより従来のX線静止画では解明できなかった肺のダイナミックな動きが見られるようになり、より確かな診断、治療、手術方針決定を可能にしています。既に、国内外での様々な医療機関で採用いただいております。早期発見や最適治療の実現のお役に立っています。

システムの中核を担うX線画像解析ワークステーション「KINOSIS(キノシス)」には、Microsoft Embedded OS搭載のDell Precision 5820 XL Towerを採用しました。いくら効果的な診断が行えても、高額な専用ハードウェアが必要ということでは、医療機関としてもハードルが高い。

KINOSISは既存の設備にワークステーションとデジタルX線撮影装置をアドオンするだけで必要な環境を整えられるようになっています。

また、AIを駆使した、分子レベルでの遺伝子やたんぱく質の解析により病気のメカニズムが解明され、病気の前兆をより正確に表すバイオマーカーの特定が進みます。そしてこれらのバイオマーカーを中心にした診断、創薬が、患者様個人に合った個別化医療の中核となっていくでしょう。コニカミノルタは、米国で近年買収した最先端の遺伝子解析会社、AI医療画像会社を中心に、個別化医療の拠点を米国に移しています。

医療分野のサービスは人命に深くかかわるため、ITシステムの信頼性、安定性は大前提になります。その中でも、個別化医療実現のためには膨大なデータを扱うこととなり、強固で信頼性の高いITシステムが不可欠です。コニカミノルタは、独自の画像技術とデータサイエンスの力を組み合わせて早期診断と個別化医療を推進し、患者様の負担軽減とQOL向上に貢献していきます。

ヘルスケアの未来に向かうコニカミノルタをデル テクノロジーズのソリューションが支えます。



KONICA MINOLTA

コニカミノルタ株式会社
専務執行役員ヘルスケア事業本部長
藤井 清孝 氏



Dell Precision 5820 XL Tower*

デル テクノロジーズ

検索

*通常モデルのDell Precision 5820 Towerもございます。
Microsoft、Windows、Windows 7、Office ロゴ、Outlook、Excel、PowerPoint米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。その他の社名および製品名は各社の商標または登録商標です。Dell Technologies の7つのブランドDell、Dell EMC、Pivotal、RSA、Secureworks、Virtustream、VMware Dell Technologies、Dell、EMC、及びDell EMCが提供する製品及びサービスにかかる商標は米国Dell Inc. 又はその関連会社の商標又は登録商標です。© 2019 Dell

2020年1月 Windows 7 サポート終了

 Windows 10